

普及課だより

2021. 1月号

No.54

愛知県東三河農林水産事務所農業改良普及課
(東三河農業普及指導センター)

〒440-0833 豊橋市飯村町高山 11-40
TEL : (0532)63-3529 FAX : (0532)63-7023
Web : <http://www.pref.aichi.jp/nourin-higashimikawa/higashimikawa-fukyu/>

明けましておめでとうございます。

課長 山崎 一郎



日頃は農業改良普及事業に格別な御理解と御協力を賜り、職員一同厚くお礼申し上げます。

昨年は新型コロナウイルスに翻弄された1年でした。現在も予断を許さない状況が続いております。こうした中、県では昨年12月に2025年度を目標年度とする「食と緑の基本計画2025」をとりまとめ、緊急プロジェクトとして「新しい生活様式」の下での消費習慣の変化への対応を位置づけました。

また、農業改良普及課では、2021年度から5年間の新普及指導基本計画の策定を進めております。活動の4本柱に①意欲ある担い手の確保育成②産地の収益力向上に向けた取組の支援③環境と安全に配慮した持続可能な農業の推進④活力ある地域づくりに向けた取組の支援、を掲げ普及指導活動を展開します。

関係の皆様方の意向をしっかりと踏まえ、効率的、効果的な普及活動を進めて参りたいと思いますので、よりいっそうの御理解と御協力をお願いいたします。

令和2年度 農業経営士・農村生活アドバイザー・青年農業士の認定者紹介

令和2年11月20日(金)に愛知県庁にて三士認定式が開催され、管内から新たに18名の方が認定されました。

農業経営士

【豊橋市】

河合 昭典 (露地野菜)
鈴木 健示 (露地野菜)
大梅 健一 (花き)

【豊川市】

河合 勲夫 (花き)
鳥居 良寛 (施設野菜)
加藤 守 (施設野菜)

【蒲郡市】

近藤 幸宏 (果樹)
山本 高裕 (果樹)



農村生活アドバイザー

【豊橋市】

森 昌子 (露地野菜)
朝倉 美穂 (果樹)
高橋 香織 (畜産)

【豊川市】

中田 道子 (花き)
榎本 佐和子 (果樹)

【蒲郡市】

千賀 靖子 (施設野菜)

青年農業士

【豊橋市】

木下 和哉 (露地野菜)
繁原 大樹 (果樹)

【蒲郡市】

飛田 悠貴 (果樹)
大場 涼祐 (果樹)

↑三士認定式にて知事と認定者
(上から農業経営士、アドバイザー、青年農業士)

～コロナ禍でも前向きに～

管内農業者の取組紹介

豊橋4Hクラブが道の駅とよはしで野菜釣りを出店

令和2年11月7日(土)に道の駅とよはしで、豊橋4Hクラブが野菜釣りを出店しました。野菜釣りは、多数ある紐のうち1本を引き、引いた紐と繋がっている農産物がもらえる仕組みです。クラブ員の生産した野菜や果物、花、米などを景品としました。当日は、天候が悪く、道の駅に訪れる客が少なかったため、売り上げは伸びなかったものの、老若男女問わず約300人が訪れ野菜釣りを楽しむ様子が見られました。

例年、豊橋まつりに出店していますが、今年は新型コロナウイルスの影響により中止となりました。そこで、初の試みとして道の駅とよはしを利用しましたが、クラブ員にとっては新たな経験ができるいい機会になりました。



野菜釣りの様子

農村生活アドバイザー豊橋ブロックが寄せ植え講座で市民と交流

農村生活アドバイザー豊橋ブロックが、シクラメンを使った寄せ植え講座を開催しました。定員30名に対し約2倍の59名の参加申し込みがありましたが、全員の受入れを決め、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、令和2年12月3日(木)の午前、午後、4日(金)午前の3回に分けて、実施しました。

シクラメン栽培の会員らが寄せ植え方法の指導を行い、参加者は広いハウスから思い思いに選んだメインのシクラメンや他の鉢花を楽しく植えていき、世界で1つだけの寄せ植えを作りました。



寄せ植え指導の様子

行事の中止が相次ぐ1年ですが、この寄せ植え講座は無事実施でき、地元の農業をPRできました。

豊川市青年農業士会が子供たちと収穫体験

令和2年10月25日(日)に、豊川市御津町の畑で、豊川市青年農業士会が児童養護施設光輝寮の児童、幼児17名を招いて、さつまいもの収穫体験会を開催しました。同会は地域貢献活動に取り組んでいて、その一環として、例年この収穫体験会を実施しています。

今年度は新型コロナウイルスの影響で、6月に予定していた定植体験会は中止しており、今回の収穫体験会の開催も危ぶまれていましたが、地域の感染状況が小康状態の中、光輝寮の強い希望もあって開催することができました。



収穫体験の様子

後日、参加した児童からお礼の手紙が届き、「楽しかった」「(お土産の芋を寮で調理し)おいしかった」などの感想が伝えられました。

洋ラン農家がSNSを活用して、消費者と交流

豊橋市は切り花、鉢花、観葉、洋ラン生産が盛んですが、新型コロナウイルスが消費者の生活スタイルに大きな影響を与え、花の需要の先行きが見通せない日々が続いています。

逆に前向きな生産者は新たな需要を掘り起こすきっかけと捉えており、SNSやネット通販を活用して消費者と直接繋がる取組が広がりつつあります。

その1つとして、昨年11月に洋ラン生産者がSNSで仲間を募り、豊橋市内の洋ラン、鉢花等の生産者がほ場解放(オープンファーム)



オープンファームの様子

を行いました。宣伝にもSNSを活用し、多くの消費者が県内だけでなく県外からも訪れ、花の生産について理解を深めました。